

令和元年度 堺リベラル中学校 学校評価

1. 目指す学校像

建学の精神である「愛と真実の教育」「情操豊かな女子教育」を基本とし、「明朗な女性の育成」「知性豊かな女性の育成」「実行力のある女性の育成」という教育方針のもと以下の実現を目指す。

1. 基本的な生活習慣の確立
2. 自己表現能力の向上
3. 将来に向けて基礎学力の養成

カリキュラムは国公立高等学校の合格を目指す特進のカリキュラムに、ダンス・楽器演奏・演技実習などの表現教育を取り入れ、自己表現能力を伸ばし、内部進学・外部進学のどちらにも対応できる体制を確立させる。

2. 中期的目標

1. 教育活動と確かな学力の育成(教育充実のための取り組み)

(1) 学力の向上(生徒の実態に応じた授業方法の確立)

- ① 学習指導計画の確立
- ② 個々の学習状況に応じた学習指導
- ③ 指導方法の工夫・改善
- ④ 不登校対策の充実
 - ア. 年間授業時数の確保・学校行事等が一定の曜日に偏らないように配慮する。
※自己評価アンケートで、達成度を90%にすることを旨とする。
 - イ. シラバスによる教科・科目の指導目標の達成を目指す。
※自己評価アンケートで、達成度を90%にすることを旨とする。
 - ウ. 外部テストの対策講座や進学用補習を計画的に行う。
※自己評価アンケートで達成度80%にすることを旨とする。
 - エ. 中間考査・期末考査で基準値がとれなかったら生徒の居残り補習の実施
※自己評価アンケートで達成度80%にすることを旨とする。
 - オ. 早朝テストのやり直し確認と再テストの徹底実施
※自己評価アンケートで90%にすることを旨とする。
 - カ. 発音記号に基づく発音指導と辞書引きの徹底指導
※自己評価アンケートで昨年どおり100%達成をも目指す。
 - キ. 英語検定の対策講座の実施と英語検定の全員合格を目指す。
※自己評価アンケートで昨年60%達成をさらに向上させたい。
 - ク. 外国人講師による英会話授業の充実と日常的な会話指導の実施
※自己評価アンケートで昨年同様80%達成を目指す。
 - ケ. 勉強合宿において習熟度別授業を実施した。
※自己評価アンケートで昨年同様100%達成を目指す。
 - コ. 不登校生徒の援助・指導・対策の取り組み
自己評価アンケートで80%にすることを旨とする。
- ⑤ 挨拶の習慣化
- ⑥ 人権意識の育成
 - サ. 校の挨拶や学校行事での礼儀指導の徹底
自己評価アンケートで100%達成を目指す。
 - シ. 主張コンクール等を通じて自己表現・プレゼンテーションの能力を身につけさせる。
自己評価アンケートで昨年同様90%達成を目指す。
 - ス. 「っ子」新聞の人権作文に全員応募させ、人権の視点や知識を持たせる。
自己評価アンケートで90%達成を目指す。

2. 学校としての組織的対応

(1) 学校情報の発信と保護者とのコミュニケーションの充実

- ① 保護者との連携
- ② 教育活動の対外的報告
- ③ 学習環境の美化と整備
 - ア. 子ども安全連絡網による学校連絡を実施していく。
※自己評価アンケートで80%達成を目指す。
 - イ. 月2回発行のリベラルボイスで学校の様子をタイムリーに報じて、一方的な配信にならないようにする。
※自己評価アンケートで90%達成を目指す。

ウ. 人権新聞「まあいいのち」を月1回発行していく。また障害者施設や老人ホーム等の訪問も取り上げていく。

※自己評価アンケートで昨年70%から80%にあげることを目指す。

エ. 生徒全員清掃の実施と個人ロッカーの整頓の徹底。点検をしっかりとすることで自覚を持たせる。

※自己評価アンケートで80%達成を目指す。

オ. 机等の整理・整頓に努める。

※自己評価アンケートで昨年同様90%達成を目指す。

3. 教員人材の育成

(1) 教員研修等による指導力の向上

① 模擬授業の実施と評価

② 年度課題設定とその評価

③ 教員研修の実施

ア. 授業充実のため各先生に模擬授業をしてもらい、お互いに講評する。

※自己評価アンケートで80%を目標にした。

イ. 自ら取り組むべき課題を明らかにし、課題の達成度を評価する。

※自己評価アンケートで昨年70%から80%にあげることを目指す。

ウ. 年度当初に「いじめ等の研修会」を開催していき、マニュアルにそって確認していく。

※自己評価アンケートで昨年80%から90%にあげることを目指す。

エ. 防犯対策の講演・研修会を開催し、危機管理の意識を高める。不審者に対するマニュアルにそって確認

※自己評価アンケートで90%達成を目指す。

オ. 不登校対策の研修会を開催し、不登校生徒への対策を講じる。不登校生徒対応マニュアルの見直しも行う。

※自己評価アンケートで昨年同様80%達成を目指す。

自己評価アンケートの結果と課題

<教職員>

☆教育活動と確かな学力の育成(教育充実のための取り組み)

① 学習指導計画の確立

② 個々の学習状況に応じた学習指導

③ 指導方法の工夫・改善

④ 不登校対策の充実

ア. 月曜日・土曜日が祝日や学校行事のためこの曜日にある教科の授業数確保が難しかった。学期末に特別授業として授業数の足りない教科の授業を入れて確保した。できるだけ特別授業に頼らず授業時間を確保したい。自己評価80%は維持できた。

イ. 進度計画の内容を吟味する中で副教材の利用等を改善した。さらに授業時間を確保し、指導目標を達成したい。

自己評価80%を維持できた。

ウ. 模擬テストの対策・英検の対策はできた。昨年の課題として早くから時間割の計画をたて、習熟度別に行うことが出来るよう計画を立てたのでさらに自己評価80%以上の達成を目指したい。

エ. 居残り補習については、長期休暇も含め補習ができていたので、さらに充実したものにしていきたい。居残り補習と対策講座の両立できるように改善していきたい。目標の自己評価90%は達成できた。

オ. 早朝テストのやり直し等については放課後の習い事等の活動をしている生徒も再テストを優先するようにしどうした。引き続き継続し、より定着したテストにしたい。来年度は90%を目指したい。

カ. 発音記号に基づく発音指導や辞書引きについては、辞書引きを競争させるなど、興味を引くよう工夫が必要と思われる。1年から3年まで徹底指導がほぼでき、自己評価で90%維持できた。

キ. 英検対策は合格率を上げるために、全員受験を9月から2月に変更し、冬休みの課題や対策講座の内容を改善したが、目標を達成できなかった。来年度はさらに対策講座を充実させたい。

ク. 外国人講師による英会話授業について、もう少し、スピーチコンテストに積極的に参加させ、より充実した内容にしたい。来年度は何とか自己評価80%を達成させたい。

ケ. 勉強合宿・外部模試講座等で外部テストの偏差値をもとに3グループにわけて実施できた。来年度は対策講座だけでなくさらに充実した授業を目指したい。自己評価90%を達成できた。

コ. 入学後、不登校の改善がみられる生徒とあまり改善されない生徒がいる。改善が見られる生徒も学力補充の面でまだまだ課題が多い。指導体制を確立していきたい。自己評価はB段階にあたる70%にとどまった。

⑤ あいさつの習慣化

⑥ 人権意識の育成

サ. 学校行事でのあいさつの更なる徹底とスクールバス内や外部の来客者へのマナーを向上させたが、一部できなかったところがあり、達成度もB段階の70%にとどまった。

シ. 私の主張コンクール・文化発表会でほとんどの生徒が自己表現できた。校内スピーチコンテストを実施するなど充実をはかった。自己評価も90%を維持できた。

ス. 人権作文は全員提出できたが、次年度にむけて、仲間作りや周囲にいる人々のことを思いやる気持ちを一層養いたい。なかなか徹底できないが何とか自己評価を80%から90%にしたい。

☆学校としての組織的対応

①保護者との連携

② 教育活動の対外的報告

③学習環境の美化と整備

ア. 子ども安全連絡網による学校連絡は4月にできたが、受け取りの確認が徹底できなかった。次年度は自己評価100%達成を目指して徹底していきたい。自己評価は90%達成。

イ. リベラルボイスは月2回発行出来ない時もあり、また一方的になりがちである。一方的な配信にならないように対策を考えたい。そのため自己評価80%を達成できなかった。

ウ. 人権新聞も一方的な配信になりがちである。さらに人権講演なども充実していくなど人権意識を高めていきたい。自己評価80%を実現していきたい。

エ. 全員清掃については、監督に行かないと出来ないときもあったが、点検表をつくり、意識付けをした結果、達成度 A の範囲である80%を達成した。

オ. 机等の整理・整頓については、各授業の初めにきちっと並べることを定着していきたい。個人ロッカーもテスト前などに点検日を入れていく。自己評価は80%達成したが90%にしたい。

☆教員人材の育成

①模擬授業の実施と評価

②年度課題設定とその評価

③教員研修の実施

ア. 模擬授業については、放課後実施のため、講座・補習等があり、実施回数が十分ではなかった。次年度は計画的に実施していきたい。自己評価80%に引き上げ充実をはかりたい。

イ. 自ら取り組むべき課題を明らかにし、課題の達成度も評価したいが、自己評価で80%を実現した、授業・クラス運営・委員会指導にも広げていきたい。

ウ. 人権研修で、携帯電話についての講演・研修会を実施したが根本的な解決方法を見いだせない。保護者の協力も得て、違反行為がないように徹底したい。来年度は90%を達成したい。

エ. 防犯対策では、危機管理マニュアルを把握して、更なる充実をはかる。また、堺警察署の協力を得て意識を高めてきたかったが、教職員全員に広げられなかった。次年度は90%に引き上げたい。

オ. 不登校対策は具体的な対策を見いだせない。登校出来るようにケース会議を中心に、放課後対応などを持続的に指導していくことで、登校に繋がりたい。自己評価80%を達成したい。

以 上

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取り組み計画・内容	評価指標	自己評価
1. 教育活動と確かな学力の育成(教育充実のための取り組み)	①学習指導計画の確立	ア. 年間授業時数の確保・学校行事等が一定の曜日に偏らないように配慮する。	ア. 自己評価アンケートで90%達成を目指す	ア. 月曜日・土曜日が祝日や学校行事のためこの曜日にある教科の授業数確保が難しかった。自己評価アンケートは80%だった
		イ. シラバスによる教科・科目の指導目標の達成を目指す。	イ. 自己評価アンケートで90%達成を目指す	イ. 進度計画の内容を吟味する中で副教材の利用等を改善した。授業時間を確保し、指導目標を達成したい。自己評価アンケート80%達成を維持できた。
		ウ. 外部テストの対策講座や進学用補習を計画的に行う。	ウ. 自己評価アンケートで80%達成を目指す	ウ. 模擬テスト対策・英検対策はできた。昨年の課題から早くから習熟度別に行うことが出来るよう計画を立てたのでさらに80%以上の達成をめざしたい。
	②個々の学習状況に応じた学習指導	エ. 中間考査・期末考査で基準値がとれなかったら生徒の居残り補習の実施	エ. 自己評価アンケートで80%達成を目指す。	エ. 来年度は居残り補習と外部対策講座の両立ができるように改善していきたい。目標の自己評価アンケート90%達成できた。
		オ. 早朝テストのやり直し確認と再テストの徹底実施	オ. 自己評価アンケートで90%達成を目指す	オ. 早朝テストのやり直し確認を定着させたい。自己評価アンケート80%達成、来年度は自己評価アンケート90%達成を目指したい。
		カ. 発音記号に基づく発音指導と辞書引きの徹底指導	カ. 自己評価アンケートで昨年同様100%達成を目指す	カ. 発音記号に基づく発音指導や辞書引きについては、辞書引き競争など興味を引くよう工夫が必要と思われる。来年度は90%達成を目指したい。
	③指導方法の工夫・改善	キ. 英語検定の対策講座の実施と英語検定の全員合格を目指す。	キ. 自己評価アンケートで昨年の60%を向上させたい	キ. 英検対策は合格率を上げるために全員受験を2月に変更し、冬休みの課題や対策講座の内容を改善したが、目標を達成できなかった。来年度はさらに対策講座を充実させたい。
		ク. 外国人講師による英会話授業の充実と日常的な会話指導の実施	ク. 自己評価アンケートで昨年同様80%達成を目指す	ク. スピーチコンテストに積極的に参加させ、より充実した内容にしたい。来年度は何とか自己評価アンケート80%達成を目指したい。
		ケ. 勉強合宿において習熟度別授業を実施した。	ケ. 自己評価アンケートで昨年同様100%達成を目指す	ケ. 勉強合宿・外部模試講座等で外部テストの偏差値をもとに3グループにわけて実施できた。来年度は対策講座だけではなく、さらに充実した授業を目指したい。自己評価アンケート90%達成できた。
	④不登校対策の充実	コ. 不登校生徒の援助・指導・対策の取り組み	コ. 自己評価アンケートで80%達成を目指す	コ. 入学後、不登校生徒の改善かみられる生徒とあまり改善されない生徒がいる。学力補充の面もまだまだ課題も多い。自己評価アンケートは70%にとどまった。
⑤あいさつの習慣化		サ. 下校の挨拶や学校行事での礼儀指導の徹底	サ. 自己評価アンケートで100%達成を目指す	サ. 学校行事での挨拶の更なる徹底とスクールバス内や外部の来客者へのマナーを向上させたが一部できなかったところがあり達成度も70%にとどまった。
⑥人権意識の育成		シ. 主張コンクール等を通じて自己表現・プレゼンテーションの能力を身につけさせる。 ス. 「堺っ子」新聞の人権作文に全員応募させ、人権の視点や知識を持たせる。	シ. 自己評価アンケートで昨年同様90%達成を目指す ス. 自己評価アンケートで90%達成を目指す	シ. 私の主張コンクール・文化発表会でほとんどの生徒が自己表現できた。校内スピーチコンテストを実施するなど充実をはかった。自己評価アンケート90%達成を維持できた。 ス. 人権作文に全員提出できたが、次年度に向けて仲間作りや周囲にいる人々のことを思いやる気持ちを一層養いたい。何とか自己評価アンケート80%から90%にしたい。
2. 学校としての組織的対応	①保護者との連携	ア. 子ども安全連絡網による学校連絡を実施していく。	ア. 自己評価アンケート80%達成を目指す	ア. 子ども安全連絡網による学校連絡は4月にできたが、受け取りの確認が徹底できなかった。次年度は自己評価アンケート100%達成を目指して徹底していきたい。
	②教育活動の対外的報告	イ. 月2回発行のリベラルボイスで学校の様子をタイムリーに報じて、一方的な配信にならないようにする。	イ. 自己評価アンケートで90%達成を目指す	イ. リベラルボイスは月2回発行出来ないときもあり、また一方的になりがちである。一方的な配信にならないように対策を考えたい。そのため自己評価アンケート80%を達成できなかった。
		ウ. 人権新聞「まあるいいのち」を月1回発行していく。また障害者施設や老人ホーム等の訪問も取り上げていく。	ウ. 自己評価アンケート70%から80%にあげることを目指す	ウ. 人権新聞も一方的な配信になりがちである。さらに人権講演会なども充実していくなど人権意識を高めたい。自己評価アンケート80%達成を実現していきたい。

中期的 目標	今年度の 重点目標	具体的な取り組み計画・内容	評価指標	自己評価
2. 学校としての 組織的対応	③学習環境の美化と整備	エ. 生徒全員清掃の実施と個人ロッカーの整頓の徹底。点検をしっかりとすることで自覚をもたせる。	エ. 自己評価アンケート80%達成を目指す	エ. 全員清掃については、監督に行かないと出来ない時もあったが点検表をつくり、意識付けをした結果自己評価アンケート80%達成した。
		オ. 机・椅子等の整理整頓に努める。	オ. 自己評価アンケートで昨年同様、90%達成を目指す	オ. 机・椅子等の整理整頓については、各授業の初めにきちっと並べることを定着していきたい。個人ロッカーもテスト前などに点検日をいれていく。自己評価アンケート80%達成はしたが、90%にしたい。
3. 教員人材の 育成	①模擬授業の実施と評価	ア. 授業充実のため各先生に模擬授業をしてもらい、お互いに講評する。	ア. 自己評価アンケート80%達成を目指す	ア. 放課後実施のため、講座・補習等があり、実施回数が十分ではなかった。次年度は計画的に実施していきたい。自己評価80%に引き上げたい。
	②年度課題設定とその評価	イ. 自ら取り組むべき課題を明らかにし、課題の達成度を評価する。	イ. 自己評価アンケートで昨年70%から80%にあげることを目指す。	イ. 自ら取り組むべき課題を明らかにし、課題の達成度も評価したいが、自己評価で80%達成を実現したが、授業・クラス運営・委員会指導にも広げていきたい。
	③教員研修の実施	ウ. 年度当初に「いじめ等の研修会」を開催していき、マニュアルにそって確認していく。 エ. 防犯対策の講演・研修会を開催し、危機管理の意義を高める。不審者に対するマニュアルにそって確認。 オ. 不登校対策の研修会を開催し、不登校生徒への対策を講じる。不登校生徒対応マニュアルの見直しも行う。	ウ. 自己評価アンケートで昨年80%から90%にあげることを目指す。 エ. 自己評価アンケート90%達成を目指す オ. 自己評価アンケートで昨年同様80%達成を目指す	ウ. 人権研修で携帯電話についての講演・研修会を実施したが、根本的な解決方法を見いだせない。保護者の協力も得て、違反行為が内容に徹底したい。来年度は90%を達成したい。 エ. 防犯対策では、危機管理マニュアルを把握して更なる充実をはかる。また、堺警察署の協力を得て意識を高めていきたかったが、教職員全員に広げられなかった。次年度は90%に引き上げたい。 オ. 不登校対策は具体的な対策を見いだせない。登校出来るようにケース会議を中心に、放課後対応などを持続的に指導していくことで、登校に繋げたい。自己評価80%を達成したい。